

目 次

第5編 機器・設備

	— お —		
	大森機械工業(株)	324	
	— か —		
アーシェルジャパン(株)	319	(株)柿本商会	325
(株)愛工舎製作所	319	(株)カジワラ	325
(株)AiHO (アイホー)	319	(株)川島製作所	326
アサヒ装設(株)	320	関東工業(株)	326
味の素エンジニアリング(株)	320	関東混合機工業(株)	326
アンリツインフィビス(株)	321		
安立計器(株)	321	— き —	
	— い —	北沢産業(株)	327
(株)イシダ	321	— く —	
(株)イズミフードマシナリ	322	(株)クレオ	327
伊藤忠マシンテクノス(株)	322	(株)クレハ	327
イントラロックスエルエルシー	322	— け —	
(株)インフォマート	322	(株)ケイズベルテック	328
	— え —	— こ —	
(株)エービーシー商会	323	(株)光伸舎	328
(株)江沼チエン製作所	323	(株)ゴールドウイン	328
(株)エフ・エム・アイ	323	(株)コスモ企画	328
(株)エフピコ	324	(株)コバード	329
(株)エムラ販売	324	コマジャパン(株)	329
		金剛産業(株)	329



**Smiles for All.**

すべては、笑顔のために。



**東洋水産株式会社**

TOYO SUISAN 〒108-8501 東京都港区港南2-13-40 電話03(3458)5111

## 統計でみる冷凍食品

(一社)日本冷凍食品協会が毎年発表する「冷凍食品に関連する諸統計」をベースに、冷凍食品業界の全体像を解説する。統計は、同協会の前身、冷凍食品普及協会時代の昭和34年からまとめて発表している。

### 令和元年の冷凍食品生産量 159 万 t

(一社)日本冷凍食品協会の調査によれば、令和元年(1~12月)の冷凍食品国内生産は数量が159万t(前年比100.6%)、金額(工場出荷額)は7131億円(99.5%)と前年をわずかに下回ったが平成29年以降、7100億円台をキープしている。数量は10年前に比べると14.4%の増加、5年前に対しては3.6%の増加となった。金額は10年前との比較で12.0%増加、5年前に対しては4.8%の増加となった。

生産数量は統計がスタートした昭和34年以降、毎年右肩上がり急速に伸びてきたが、平成11年から縮小と拡大を繰り返し、18年の154万5200tがそれまでの過去最高。20年の天洋食品事件で21~22年は130万t台に落ち込み、23~24年に140万t台に回復、テレビのバラエティ番組で頻繁に取り上げられたこともあり、25年は155万tと過去最高を更新。さらに28年、29年と過去最高を2年連続で更新した。

### 生産は 438 工場、前年比 6 工場減

国内の冷凍食品生産工場は、令和元年実績で438工場。前年比で6工場減少した。

国内の生産工場数は、10年前の平成21年と比べると209工場の減少、5年前の平成26年に対して73工場の減少となっている。

### 調理食品が生産量の 89.3% 占める

令和元年の国内冷蔵生産の品目別構成比を見ると、大分類では調理食品の割合が89.3%と最も大きく、このうちフライ類が20.4%、フライ類以外が68.9%。調理食品に次ぐ農産物は4.6%を占め、以下水産物2.9%、菓子類2.9%、畜産物0.3%という構成。これらを前年と比べると、水産物が4.7%減少したのに対し、北海道の原料生産が回復した農産物が1.0%増加した。大半を占める調理食品が1.0%増加した。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、うどん(1万9,243t増、111.1%)、ハンバーグ(5,211t増、108.0%)、卵製品(4,544t増、111.3%)、グルタン(4,447t増、120.4%)など。

減少したのは中華まんじゅう(8,277t減、71.0%)、コロケ(7,962t減、95.4%)、カツ(6,030t減、90.8%)など。「うち~、その他の~」を除く。

### 1 kg 当たりの金額 446 円、前年比 5 円減

生産額を生産量で割った1kg当りの金額は冷凍食品全体で446円。前年に比べて5円下落した。

大分類の品目別で、水産物は915円、農産物は315円、畜産物は590円、調理食品は428円、菓子類は741円。調理食品のうちフライ類は499円、フライ類以外は407円。

小分類の品目の中で1kg当たりの金額が最も高かったのは、水産物のその他(1165円)、次いで貝類(1102円)、えびフライ(931円)、えび類(838円)。一方、最も安かったのは、うどん(151円)、にんじん(185円)、ポテト(205円)の順。

## 有力冷凍食品メーカーの動向

### ニチレイ、成長ドライバー創出に取り組む

ニチレイは既存事業の成長に向けて積極的に設備投資をする一方、長期的視点に立って研究開発や新規事業開発に注力し、新たな成長ドライバーの創出に取り組む考え。

一環として、食とテクノロジーを融合させた「フードテック」に注目し、スクラムベンチャーズ（米サンフランシスコ市）が主催するグローバル・オープンイノベーション・プログラム「Food Tech Studio-Bites!」に参加すると20年9月に公表。フードテック関連のスタートアップ、食産業以外の戦略パートナーらと、フードロスやプラスチックごみといった社会課題の解決、地球環境保護のための植物性たん白の進化などに取り組む。

冷凍食品をメインとする加工食品事業では、「食の外部化」の進展や人手不足による省人化の必要性から今後冷凍食品の需要は堅調に推移すると見ており、商品



「極上ヒレかつ」

開発力や業界最大級の生産能力・コスト競争力、全業態に対応可能な販売網、品質保証体制などの強みを活かして販売拡大を図る。

ニチレイフーズはウエルライフ事業部を2020年春に新設し、同事業部に生協営業部、ウエルネス部、eコマース部を設置、成長業態への対応力強化を図っている。

20年春に家庭用で「極上ヒレかつ」を投入、秋には「いろいろ使えるピリ辛肉そぼろ」

で「冷凍調味料」という新しいジャンルに挑戦した。

### 味の素冷凍食品、事業構造の強化最優先

味の素冷凍食品は2020～22年度の新中計で「事業構造の強化を最優先」（黒崎正吉社長）し、次の23～25中計でより高い成長をめざす考えを明らかにしている。この間の売上げは「ゆるやかな成長」を想定し、構造強化に取り組む。

事業構造強化の一環として生産体制の再構築を挙げ「アセットライト（生産体制の見直し）と成長投資をバランス良く行う」（黒崎社長）。中計3年間で過去最高の390億円を投じる。そのうち国内150億円、海外で240億円。

20年7月から新組織に切り換えた。国内統括営業部を設置し、リーダーとして小林匠常務を置いた。製品戦略部（大竹賢治部長）、戦略コミュニケーション部（石崎カロリーナ真喜部長）、販売マーケティング部（熊田主道部長）ら各部署も一新。

群馬や埼玉に点在していた研究・開発センターと生産本部生産技術開発部、同品質管理



「フローズンフードテック&デザインステーション」

# 索引

## 索引

[メ] = メーカー編 [問] = 問屋・商社編  
 [運] = 運輸・保管編 [機] = 機器・設備編  
 [原] = 原料・資材編 [団] = 団体編  
 (名簿) = 関係団体会員名簿

### — あ —

アーシェルジャパン(株)…………… 319[機]  
 (株)アイガー…………… 183[問]  
 アイケイ食品(株)…………… 81[メ]  
 (株)愛工舎製作所…………… 319[機]  
 (株)アイスライン…………… 183[問]  
 (株)AiHO (アイホー) …… 319[機]  
 愛麵(株)…………… 81[メ]  
 (株)アオキ…………… 183[問]  
 青葉化成(株)…………… 359[原]  
 (株)青葉冷凍…………… 301[運]  
 赤松化成工業(株)…………… 359[原]  
 (株)秋川牧園…………… 81[メ]  
 秋田科学物産(株)…………… 184[問]  
 (株)アキタサト一商会…………… 184[問]  
 (株)秋田丸魚…………… 184[問]  
 (株)秋田丸米低温・冷蔵物流センター…………… 301[運]  
 (株)アキヤマ…………… 184[問]  
 (株)アキレイ…………… 185[問]  
 (株)アクティブマリン…………… 82[メ]  
 アクト中食(株)…………… 185[問]  
 (株)アコス…………… 186[問]  
 (株)アサダ…………… 82[メ]  
 浅地産業(株)…………… 186[問]  
 (株)あさの…………… 82[メ]  
 旭化成(株)樹脂製品事業部…………… 359[原]  
 旭食品(株)…………… 186[問]  
 (株)旭食品…………… 188[問]  
 アサヒ装設(株)…………… 320[機]  
 旭トラストフーズ(株)…………… 359[原]  
 (株)アサヒプロイラー…………… 83[メ]  
 (株)あじかん…………… 83[メ]  
 (株)味のちぬや…………… 84[メ]  
 味の素エンジニアリング(株)…………… 320[機]  
 味の素冷凍食品(株)…………… 85[メ]  
 アスカフーズ(株)…………… 86[メ]  
 (株)あずみのふうず…………… 86[メ]  
 (株)アスモトレーディング…………… 188[問]  
 アヅマックス(株)…………… 360[原]  
 (株)ADEKA …… 87[メ]  
 ADEKA 食品販売(株) …… 188[問]  
 アリスタフードソリューションズジャパン(株)…………… 87[メ]

(株)アルカン…………… 188[問]  
 アンリツインフィビス(株)…………… 321[機]  
 安立計器(株)…………… 321[機]

### — い —

イースタンフーズ(株)…………… 88[メ]  
 (株)イトアンドフーズ…………… 88[メ]  
 五十嵐冷蔵(株)…………… 89[メ]  
 五十嵐冷蔵(株)…………… 301[運]  
 イカリ消毒(株)…………… 360[原]  
 (株)井ゲタ竹内…………… 90[メ]  
 石川食品(株)…………… 90[メ]  
 石川中央食品(株)…………… 189[問]  
 (株)イシダ…………… 321[機]  
 イシハラフーズ(株)…………… 90[メ]  
 石光商事(株)…………… 189[問]  
 (株)泉平…………… 190[問]  
 (株)イズミフードマシナリ…………… 322[機]  
 (株)IZUMIYA …… 190[問]  
 伊勢丸食品(株)…………… 90[メ]  
 一色うなぎ漁業協同組合…………… 91[メ]  
 伊藤忠紙パルプ(株)…………… 360[原]  
 伊藤忠商事(株)…………… 191[問]  
 伊藤忠食品(株)…………… 191[問]  
 伊藤忠マシントテクノス(株)…………… 322[機]  
 伊藤忠ロジスティクス(株)…………… 301[運]  
 (株)イト商…………… 192[問]  
 (株)井戸商店…………… 91[メ]  
 井村屋グループ(株)…………… 92[メ]  
 (社)いわたし普及協会…………… 381[団]  
 岩田産業(株)…………… 192[問]  
 岩谷産業(株)…………… 92[メ]  
 岩手阿部製粉(株)…………… 93[メ]  
 イントラロックスエルエルシー…………… 322[機]  
 (株)インフォーマット…………… 322[機]

### — う —

(株)ウエシマコーヒーフーズ…………… 192[問]  
 (株)うおいち…………… 193[問]  
 (株)ヴォークス・トレーディング…………… 193[問]  
 ウルノ商事(株)…………… 194[問]  
 ウロコ水産(株)…………… 194[問]

### — え —

協同組合 エイケイケイ …… 381[団]  
 (株)エービーシー商会…………… 323[機]  
 (株)SN 食品研究所 …… 195[問]  
 (株)SL Creations …… 195[問]  
 (株)エスケーフーズ…………… 93[メ]  
 NCF 日本業務用食材流通グループ …… 462 (名簿)  
 (株)江沼チエン製作所…………… 323[機]